

2020

2/21

[Fri] 18:30~

第 32 回三省堂サイエンスカフェ in 札幌

CoSTEP シリーズ 16

要申込み

大地の呼吸に耳をすます

～熱帯泥炭林の CO₂ 循環を測る～

世界各地で異常気象が報告されています。猛暑の懸念から東京オリンピックのマラソン開催地に変更された札幌も 2019 年夏は 68 年ぶりに 10 日連続真夏日となり、12 月に入ってから雪の少なさも異例でした。

気候変動への懸念が広がる中、地球温暖化の原因とされる CO₂ 濃度を高い精度で予測するため、研究者たちは世界中の森林に観測タワーをたて、陸域生態系の CO₂ 収支（光合成と呼吸のバランス）を測ってきました。

ボルネオ島などの島しょ部には広大な熱帯泥炭林が広がっています。泥炭とは、植物が完全に分解されず数千年に渡って堆積されてきた土壌有機物で、膨大な量の炭素を溜め込んでいます。しかし近年、アブラヤシ農園などの開発によって泥炭林の伐採と乾燥化が進み、泥炭の分解にともなう大規模な CO₂ の排出が懸念されています。

平野高司さんはマレーシアやインドネシアで、熱帯林と大気との間でやりとりされる CO₂ の交換量（CO₂ フラックス）を長年観測してきました。今回のカフェでは、時にオランウータンと出会うこともあるというフィールド研究の様子や、観測の最前線について、クイズも交えて詳しく伺います。



平野 高司（ひらの・たかし）さん

北海道大学大学院 農学研究院 生態環境物理学研究室 教授／
国立環境研究所客員研究員

1986 年北海道大学大学院農学研究所修士課程修了。1992 年博士（農学）取得（大阪府立大学）。専門は農業気象学。主に、北海道や東南アジアの森林や湿原において、生態系と大気環境との相互作用に関する観測研究を行っている。

日時：2020 年 2 月 21 日（金）18:30-20:00

会場：三省堂書店札幌店内 ブックス&カフェ UCC

（JR タワー札幌ステラプレイス 5F）



聞き手：村田 祥子

北海道大学農学院修士 2 年 / CoSTEP 修了生

早岡 英介

北海道大学 CoSTEP 特任准教授

主催：三省堂書店 札幌店

共催：北海道大学 CoSTEP

日本学術会議北海道地区会議

参加申込み：三省堂書店 札幌店まで

電話 **011-209-5600**

もしくは三省堂ウェブサイトから

<https://www.books-sanseido.co.jp/info/sciencecafe/>

参加費：500 円

定員：30 名（事前申込み制・先着順）

